

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
公共	1	A B C D E F	2	必修修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	高等学校 新公共(第一学習社)
使用教材等	公共資料集2024(清水書院)

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】 - 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 幸福、正義、公正などに着目して、個人や社会全体の幸福を重視する考え方と公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見だし、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 - よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。
------	--

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	単元名 A 公共の扉 【知】 - 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 【思】 - 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【態】 - よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 A 公共の扉 (1) 公共的な空間を作る私たち (2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方 (3) 公共的な空間における基本的原理 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】 - 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思】 - 倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】 - よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
2	単元名 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち(主として法に関わる事項) 【知】 - 法や規範の意義などの課題を基に、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思】 - 幸福、正義、公正などに着目して、法に関わる事項について合意形成や社会参画を視野に入れながら、事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【態】 - 現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 B 単元名 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち(主として経済に関わる事項) 【知】 - 財政及び租税の役割などの課題を基に国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていることについて理解する。 【思】 - 幸福、正義、公正などに着目して、経済に関わる事項について合意形成や社会参画を視野に入れながら、事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【態】 - 現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち(主として法に関わる事項) ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等 ・指導事項 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち(主として経済に関わる事項) ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】 - 法や規範の意義などの課題を基に、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思】 - 幸福、正義、公正などに着目して、法に関わる事項について合意形成や社会参画を視野に入れながら、事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【態】 - 現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 【知】 - 財政及び租税の役割などの課題を基に国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていることについて理解している。 【思】 - 幸福、正義、公正などに着目して、経済に関わる事項について合意形成や社会参画を視野に入れながら、事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【態】 - 現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
3	単元名 C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【知】 なし 【思】 - 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。 【態】 - 持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】 なし 【思】 - 地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【態】 - 持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。